

核兵器の廃絶と恒久平和実現を求める意見書

核兵器の廃絶は、世界で唯一の被爆国である我が国のみならず、平和を願う人類共通の願いである。

しかし、核兵器はいまだ世界に多数存在し、今なお人類は核の脅威から解放されていない。

2000年に行われた核拡散防止条約（NPT）再検討会議で、全面的な核兵器の根絶が約束されたにもかかわらず、2005年の同会議では実質合意に至らず、今日、核不拡散体制そのものが危機的状況に直面している。

アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の核保有国に加え、NPTに未加盟のインド、パキスタンも核兵器を保有し、イランでは核兵器開発につながるウランの濃縮を行い、核実験を続ける北朝鮮の動向などは核不拡散体制を大きく揺るがしている。

よって、国においては、地球上の唯一の被爆国として、世界恒久平和の実現のため、2010年に開催される核拡散防止条約（NPT）再検討会議において、核兵器廃絶の実現に向け主導的な役割を果たすよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月16日

千葉県成田市議会